

安全だより

令和3年10月15日

公益社団法人 東部広域シルバー人材センター

安全就業3-7号



季節のたより

7日午後10時41分ごろ、東京都と埼玉県で震度5強を観測する地震がありました。

山梨県の最大震度は忍野村で震度4でした。気象庁によると、東京23区で震度5強を観測するのは2011年の東日本大震災以来、震源地は千葉県北西部で、地震の規模を示すマグニチュード(M)は5.9と推定されます。

暑さも落ち着き始め、陽の落ちるのもずいぶん早くなり、日に日に秋の深まりが感じられるようになりました。

今月の24日には二十四節気の霜降(そうこう)を迎えます。

時雨が降った後に、雨の露と陰気が結びつき霜が降りて柱になる。という意味です。

これから、東北地方や本州中部では霜が降るようになり、日増しに秋も深まり、もみじや楓は紅葉します。

秋は気温が下がって過ごしやすくなるとともに、食べ物も美味しくなり、運動や読書にも適しています。

一方、大気が乾燥する気候となり、一日の気温の差が大きくなり、風邪を引きやすい季節となります。こうした状態を防ぐには、気持ちをリラックスさせて深呼吸をして、呼吸器を鍛えるようにしてください。

また、梨、レンコン、はちみつ、白ごまなど、肺を潤す作用のある食材を適度に摂ることが大切です。

一年中で最も活動しやすいこの時期、健康管理に努め、若さと体力をいつまでも保ち、安全就業を励行されますようお願いいたします。

会員の皆さんと安全就業

シルバー人材センター事業は、高齢者の新しい就業システムとして着実に地域に浸透し、定着してまいりました。

この事業は、健康で働く意欲のある高齢者が自らの人生を就業を通じて「いきいき」としたものにしていこうということが主旨ですから、事故に遭う、また事故の不安を抱えて就業するということはあってはならないことです。

会員の皆さんに共通して大切なことは、「仕事を仲間と分かち合って仲良く就業すること」と「安全の確保は最優先の課題である」ということです。

事故から身を守るためには、会員の皆さん、一人ひとりが仕事を選ぶときから安全は自分の問題として取り組む、すなわち、「安全=自己管理」という意識を持つことが最も大切です

◎安全就業に努めましょう

安全就業の心得10ヶ条 >

- ① 健康管理に留意しましょう
- ② 仕事の前日は、十分睡眠をとりましょう
- ③ 仕事に適したものを着用しましょう
- ④ 仕事の前に準備運動をしましょう
- ⑤ 器具用具は仕事の前に必ず点検しましょう
- ⑥ 身体の機能低下を認識しムリしないこと
- ⑦ 仕事は安全第一に心がけましょう
- ⑧ 就業現場は常に整理整頓を心がけること
- ⑨ 共同の仕事は合図・連絡を正確に行うこと
- ⑩ 行き帰りも仕事のうち、交通事故に遭わないようにしましょう

「いつまでも、働く喜び、無事故から」

(令和2年度から4年度まで安全就業全国統一スローガン)